

1号様式

記録者 事務局次長兼議事調査係長 齊藤 美穂

教育、民生常任委員会記録

招集年月日	令和2年7月30日(木)
招集の場所	議員控室
開会	午後1時20分
出席者	委員長 福田 淑子 副委員長 柳田 政喜 委員 村松 秀雄 委員 吉田 二郎 委員 平吹 俊雄 委員 手島 牧世 委員 藤田 洋一 議長 大橋 昭太郎
欠席者	委員 我妻 薫
職務のため出席した者の職氏名	事務局次長兼議事調査係長 齊藤 美穂
協議事項	・所管事務調査のまとめについて
その他	なし
閉会	午後2時26分

2号様式 協議の経過

	開会 午後1時20分
福田委員長	<p>皆さん、改めまして大変お疲れさまでした。</p> <p>引き続き、常任委員会を行います。我妻委員につきましては、体調不良のため欠席いたしております。委員会は成立をいたしております。</p> <p>午前中に石巻市にお邪魔して、お話をお聞きしてきました。そのまとめを行いたいと思います。その後ですね、その他といたしまして、南郷病院に限らないのですが、今、病院の患者さんがコロナの影響で減っている状況をお聞きしました。皆さんのお手元には、お金がどのようになっているのかをお示しをしているわけですが、おととい南郷病院から監査委員さんに提出された書類を事務長の了解を得まして皆さんに配布したところです。この表につきまして、後日、日にちを設定して中身を説明していただくということで、先ほど病院の参事とお話しました。日程につきまして皆さんと打ち合わせをしていきたいと思います。</p> <p>それではまず、所管事務調査のまとめについてを議題といたします。皆さんのほうから色々ご意見をいただきたいと思うんですけれども、一人ひとりお願いします。</p>
村松委員	<p>普通の奨学金というものではなく、奨学金返還に際しての助成金ということで、ちょっと新たなものだなと思っていました。居住地域、職場の地域が石巻市内にあるという、文言からすれば厳しい条件になっているなと思いました。定住化も含めた考え方なので、住んでもらって3年間という期限付き。年間20万円の3年で60万円、返す人にとっては3年でも助かるのだらうなど。3年なのか5年なのか助成期間の設定は難しいと思うのです。期間の設定をもうちょっと、3年という期間でいいのか5年がいいのか、判別はできませんけれども、そのへんの理由付けをしたほうがよかったのではないかと思います。例えば奨学金の3分の1を助成するとか、半分を助成するとか基準を設ければ自ずと期間も出てくるのかなと思うんです。ただ、住んでなければすぐ中止ということになりますので、チェック体制ですね。支給月にチェックするのか年一回のチェックなのか、退去したらどうやってわかるのかちょっと心配でした。以上です。</p>
福田委員長	はい。他に、じゃあ一人ずつ。藤田さん。
藤田委員	<p>村松委員さんが言われたことと同じ様な事ですけども。若手の職員の方々の提案でこれを始めましたということで、石巻市居住が条件、そして生産年齢人口の増加を狙うという説明がありました。わが町と比較すると、人口も仙台に次ぐ第二の市ですから、事業所も企業も多いということで、話を聞いてきた限りではわが町には該当しないところが多いなと感じました。市役所では公的な職業には助成しないという内容でしたし、10職種ありますが、石巻市でもその中である程度、需要がある看護師が多いということでした。市とわが町を比較すると大変なことをやっているなど</p>

	私は感じてきました。
福田委員長	吉田委員お願いします。
吉田委員	今日研修をさせてもらって、支援事業の創設の経緯を聞いて、私たちの委員会としての人材育成というか、保育士が一番足りないということで、そこからテーマにしたと理解しているんだけど、石巻市は市に関わる職員さんはこの事業には当てはまらないということで、線を引かれている。経緯を聞いて納得はしたんですけども。もし実現できるならば、財源どうするのかとか、その次の問題は趣旨というか、目的を強く言って財源を確保するのかわかりませんが、定住促進の意味からもいいんじゃないかなと、私は思ってきたんですけども。
福田委員長	次、手島委員。
手島委員	石巻市の目的として、地域包括ケアシステムの展開に必要となるという、医療関係及び福祉関係に係る人材の確保と定住促進というところだったので、元々のところ、そこからのスタートに子育てに関する資格が入ってきたという説明を受けてきたんですけど、目的としての定住化とか人材確保というところはすごくいいなと思うんですけど、このままの状態での本町での取り組みはかなり難しいのかなと。例えば、看護師であっても町で持っている病院は対象外になってくるようになってしまうので、そういったところと、予算組みから色々なところを考えていくと細部まで町の状態と比べていかないと、交付対象者も含めて考え直さないといけないのかなと思っていました。ただ、返還支援事業の助成金というのは魅力があるのかなとは思っています。以上です。
福田委員長	平吹委員。
平吹委員	感想としては、町と市とでは規模の差があるなという感じがしました。財源はどのようにしているのかなとお聞きしたわけですが、企業版のふるさと納税ということで、これもやはり町と市の規模の差ではないのかなと。わが町と比べた場合、どうなのかなと。石巻の場合、財源はがんばれ石巻応援基金というのがあって、その一部をこれに活用しているということで、当町に置き換えればどのようにしたらいいのかなと考えさせられているところであります。助成金交付については財源かなとつくづく思いました。
福田委員長	副委員長。
柳田副委員長	大変勉強になってきたんですけども、皆さんおっしゃったとおり、基本的には目的ですよ。最初のスタンスで人材確保ということでいいのか、定住促進でいいのか。定住促進になりますと所管が違うので、やはり最初にスタートした人材確保というふうにしていかなければならないのかなと。そういう意味では石巻とは意味合いが違うのかなと思いました。色々聞いた中で、石巻では年間20万円の3年間までということですけども、うちの町の奨学金制度の要綱を見てみたんですけども、貸付期間

	<p>の3倍の償還期間なんですね、4年制の大学に行った人は、3倍ですから12年間の償還期間なんです。4年制の大学に行った人は、月約4万円まで借りていますから、月1万3000円位の償還、約3分の1。3倍の償還期間になった場合は。となってくると、最初の3年間だけではちょっと意味合いは薄いのかなと思った部分はありました。そのへんで、金額的な部分ですね、何年間と期限を決めるのか、もしくは……。設定の仕方を考えていかないと、なかなか集まるのも効果が薄くて集まらないのかなということも感じました。高校生に関しては、うちのほうで検討している中では就職してからの話ですし、専門の職業の学校に行った場合にしか該当してこないの、目的云々、金額云々そのへんの部分は今後、目的に合わせて設定していくべきだろうし、そうしないと意味が薄くなるかなと感じました。</p>
福田委員長	<p>他にありませんか。</p> <p>私の感想を述べさせていただきたいんですけども、人材確保あるいは定住促進という両面持っているわけですけども、人材確保するという意味ではこの発想はいいなとは思いました。奨学金を借りて就職して、そうすると借金から始まる、返済から始まる、そういう意味では人材を失わないで町で確保するには、こういう助成の仕方は、金額とかそういうのは抜きにして、こういう事をしていくのは私がいいのかなと思いました。あとは財源なんですけども、他の委員がお話したように規模がね、町と市の規模。企業からの寄付金の一部を財源に充てているという意味では、美里町はどうなのかなという疑問もありますけれども、取り組みとして復興戦略検討チームということで、提案事業の一つだったんですけども、実際に若い人たちの人材を確保するという取り組みについては、私は評価できると思いました。</p> <p>では、まとめなんですけども、どのようにまとめたらいいのでしょうか。休憩します。</p>
	<p>休憩 午後1時37分 再開 午後2時02分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。</p> <p>奨学金返還支援事業助成金の取り組みは評価する。対象者は町民に限るべきではないか、それから金額については、もし実施する場合は基準を設けて行う。町内事業所に勤務するように条件を設ける。職種につきましては看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、介護福祉士、保育士の資格を得る場合の学校に通学した場合に、奨学金を借りた場合にしたいと思えます。これらをまとめて提出したいと思えますがよろしいでしょうか。(「はい」の声多数あり)では、そのようにさせていただきます。</p> <p>今後の取り組みなんですけども、どのように取り組んだらいいでしょ</p>

	<p>うか。先進地に視察するにしても県外になってしまうので、それはストップしなければならないという状況において、石巻市は県内なんで、やっと視察できたんですけれども。私たちが目的とする研究テーマに合った視察は当分無理かなと。だとすれば、じゃあどうすればいいのかという問題が出てきております。今後の取り組みをどのようにしたらいいのか、私も悩んでいるんですけれども、皆さんからご意見をいただければと思います。休憩します。</p>
	<p>休憩 午後2時05分 再開 午後2時11分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。</p> <p>今後の進め方についてですけれども、先進地について実際に行ければいいんですけれども書面で伺うかたちにして、皆さんでまとめていくということでもよろしいですか。（「はい」の声多数あり）それでは、そのようにしたいと思います。所管研究テーマについては以上となります。</p> <p>続きまして、その他なんですけれども、先ほど、冒頭にお話ししました、コロナの関係で公立病院だけでなく、病院そのものの患者数が減って、全国的に収益が落ちてきている状況になっています。医師会でも国に対して補助してほしい、支援してほしいという申し入れはしているみたいなんですけれども、未だに国からは回答が来ていないと。大変な状況にあると思うんですね、そういった中で南郷病院もかなりの減収になっています。私たちの命を守る砦になっておりますので、病院に対する支援ですね、それを国に求める意見書、これを皆さんで提出したいと思いますが、皆さんのご意見をお伺いいたします。いかがでしょうか。（「コロナ禍の中で病院収益悪化による支援」の声あり）支援金を国に求める。（「感染拡大防止支援事業というのがあるんだけど、この他にね」の声あり）そうです。各病院が減収になっているのは間違いないことなんです。公立病院だけではなくて。聞き取ったところ、南郷病院としては4、5、6月の3か月間で大体、入院で430万円、外来で200万円の減収になっています。年額にすると大体7、700万円あるいは8、000万円の減収になるお話を聞きました。今そういう状況になっています。議会として何ができるかといったら、そういった減収に対して国からの援助ですね、意見書を…。</p> <p>意見書、いかがですか皆さん。（「うちの町だけじゃないでしょ」の声あり）（「だから国のほうに対する意見書」の声あり）出す方向で原文を考えてきますので、一番直近は8月7日の議会なんですね。（「8月7日は厳しい」の声あり）かなり厳しいと思って、その後だと9月会議…（「9月では遅い」の声あり）遅いよね。8月7日に向けて出す方向で頑張ってみます。</p> <p>休憩します。</p>

	休憩 午後2時17分 再開 午後2時25分
福田委員長	再開いたします。 次回は8月6日午後1時30分からになります。この日は、病院の状況を事務長に来ていただいて、お話をいただき状況を皆さんで共有したいと思います。その上で対策を取れる分はとっていきたいと思いますので、ご了承ください。この日については、この表を必ず持つてくるようお願いしたいと思います。 他に皆さんからありませんか。 なければ、これで常任委員会を終わりたいと思います。
柳田副委員長	皆さん大変お疲れ様でございました。本日、石巻のほうまで行きまして、研修し色々お話を聞いてきて、結構、聞きたいところを聞けたかなと思います。今後、皆さんと検討して町に適した形の提案をしていきたいと思いますので、ご協力のほうよろしく願いいたします。本日はどうもお疲れ様でした。
	閉会 午後2時26分

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和2年7月30日

教育、民生常任委員会

委員長 _____